

自彊会だより



変わらぬ伝統と文化

今も



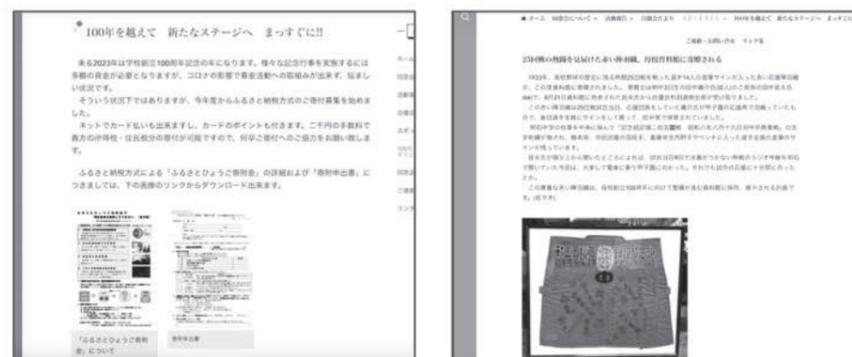
昔も

創立 100 周年に向け情報を発信していきます



トップページ

住所変更もスマホから簡単に



100周年記念事業の情報発信ページ(左)と陣羽織寄贈を伝える「スポットライト」

より充実した同窓会の窓口を目指します

- ☆自強会の様々な事業をHPでいち早く報告
速報性を生かし、同期会や会議の様子をお知らせします
- ☆同窓会報「自強会だより」もスマホで持ち歩き
思いついた時にすぐに見られます。スマホの画面でもOK!
- ☆面倒な住所変更を手元のスマホから簡単に
転居されたら同窓会へも住所の変更をお知らせください

自強会

検索

<https://dousoukai.site/meikou-jikyoukai>



またはスマホから右の QR コードを読み込んでください



兵庫県立明石高等学校の公式Instagramを始めました。現役生たちの活躍、学校の日々の様子が見ていただけます。←こちらのQRコードを読み取ってください。フォローよろしくお願いします。

100周年記念行事第1弾 「記念野球大会」



100周年記念行事第2弾 「星を観る会」



100周年記念行事第3弾 「美術展（関西展・関東展）」



表紙絵(日揺く)・利根 彩加(高77回・美40回)
裏表紙絵(旧校舎前庭)・安藤 勉(中18回)
表紙題字・佐伯 敏裕(高24回)

新たなステージへ 「さア～前進しよう！」



自彊会会長 二 草 川 雄 (高11回)

同窓会員の皆様にはお変わりなく、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申しあげます。また、平素は同窓会活動に何かとご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

学校創立100周年記念事業実行委員会が3年前に学校・同窓会・PTA・教育振興会によって立ち上げられました。1923(大正12)年に明石市立明石中学校として開校した明高は、昨年、目出度く創立100周年を迎えました。

9月30日午前、校内において ①明中祠にこの10年間で亡くなられた同窓生のご芳名を合祀 ②記念庭園の開園式 ③100周年記念碑除幕式 ④東経135度測量台の除幕式等挙行しました。同日午後1時より明石市民会館において、記念式典・記念講演(古田敦也氏)・記念音楽祭がフリーアナウンサーの赤江珠緒氏(高45回)の司会で行われました。その後、会場を舞子ヴィラに移し、260名参加の祝賀会が盛大に開催されました。祝辞、鏡開き、卒業生のダンス披露、音楽部OBによる演奏と時が進むにつれ、会場は談笑と笑顔に包まれました。沢山の方々からお褒めの言葉を頂き、「やっぱり明高やな！」の声に誇らしさを感じました。

新資料館建設以外の記念事業を終えた今、無事に盛大な事業・行事が行えたのも一重に皆様



から寄せられた記念事業募金の賜物と感謝いたしております。当初は目標額に届くかどうか心配しましたが、最終的には目標額を大きく越えることができました。皆様の母校を思う気持ち、同窓会支援のお気持ちに只々感謝しかございません。本当に有難うございました。

明高は「100年を越えて 新たなステージへ まっすぐに!!」をスローガンに進化を続けていきます。STEM探求科の新設、また来年度からは普通科・美術科の単位制移行と、まさに新たなステージへ進みます。同窓会の目的は、「会員相互の親睦と母校支援」と会則にも明記されています。母校をしっかり応援して参ります。同窓生の皆様宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、去る令和5年6月24日深夜、今も信じられませんが現職の和田同窓会会長が不慮の交通事故で亡くなられました(合掌)。急遽、総会において老いぼれの小生に会長の指名があり、お受け致しました事をご報告致します。

も く じ

会長あいさつ	1
第26代校長あいさつ	2
総会懇親会案内	2
次の100年へ	3
新たなステージが始まります!!	3
創立100周年報告	4
同窓会風景	8
支部だより(美術科)	14
支部だより(東京)	15
人事異動	16
進路関係	17
部活動今昔物語	18
部活紹介	20
同窓会役員・事務局より	21
決算報告・事業報告	22
松本元会長追悼文 お悔み	23
編集後記	24

新たなステージへ

第一歩



第26代校長 北中睦雄

自彊会の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

最初に、令和5年9月30日に明石市立明石市民会館において、兵庫県知事 齋藤元彦様をはじめ、多くのご来賓をお迎えし、盛大かつ大変意義深く「創立100周年記念式典」を挙行できましたこと、あわせて数々の周年記念行事に対して、全国の自彊会の皆様より温かいご支援を頂きましたこと、心よりお礼申し上げます。

本校に着任以来、常に会員の皆様がかい眼差しをもって本校教職員、在校生をお支えいただいていることに、創設時より今に受け継がれる明中・明高の精神「大家族主義」を体感するとともに、伝統校としての重責を機会ある毎に痛切に感じております。そして何より、この100周年という歴史的な節目に縁あって勤務させていただいたことの喜びと誇りを全教職員とともに共有し、心を一つにして新たな本校の教育活動に邁進しているところなのです。

今年度からいよいよ「STEM探究科(普通科単位制)」がスタートしました。全国に先駆けた、本県でも4校(豊岡、篠山鳳鳴、姫路飾西)に限られた新しい分野での学びへの挑戦は、初年度の入試倍率1.25倍と大きな期待と注目が寄せられました。新入生や保護者の新学科に対する夢や希望をしっかりと受け止め、その期待に応えるべく本校OBが密接に係する企業等の全面的な協力をいただきながら、実社会での問題発見や解決にいかしていくための教科等横断的な学びに取り組んでいるところです。

加えて、文部科学省の「DXハイスクール」に採択され、校内のICT関連施設を充実しデジタル人材育成にも注力するほか、県の「英語力向上のための研究と実践事業」に取り組みアプリを活用した効果的な英語学習を支援、さらには、理科教材の充実のための「理科教育振興費」が割り当てられることとなっています。これらを有効に活用することで、本校生徒の更なる学びの充実を図ってまいります。

「101年目」の第一歩を歩み出した今年度は、令和7年度から普通科・美術科ともに単位制へと移行する大きな転換期にあります。まさに本校の「黎明期」です。今年の第一歩は、今後の本校の明暗に多大な影響を及ぼすとの覚悟をもって微力ながら全力で学校経営に取り組み決意です。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

2024年度総会のご案内

コロナ対策を十分に行いながら総会を開催いたします。ご多忙とは存じますが、お集まりいただき、有意義なご意見をいただきたく存じます。なお、総会への参加は、会費不要です。

記

- 期日 2024年7月20日(土)
- 場所 グリーンヒルホテル明石(2階)
- 受付 午前11時30分(正午)
- 開始 午後1時
- 次第 ① 会長挨拶
② 議案審議
③ 質疑応答
④ その他

2024年度懇親会のご案内

総会に引き続き、同窓会懇親会を開催することとなりました。懇親会は、約6年ぶりとなります。皆様のご意見を伺いながら、今後も継続できればと役員一同願っております。

記

- 期日 2024年7月20日(土)
- 場所 グリーンヒルホテル明石(2階)
- 受付 午前11時30分(正午)
- 開始 午前12時30分(2時間)
- 次第 ① 校長挨拶
② 校歌斉唱
③ 校歌斉唱
④ 歓談・楽しい催し
- 会費 6000円
- 申込方法 同封の年会費のゆうちょ振込用紙で7月5日(金)までに会費の事前振込をお願いします。その際、電話番号の記入をお願いします。コンビニの振込用紙は、懇親会の振込には使用できません。ご了承ください。

ひととき

「自彊会だより」が届くのは初夏になるのだが原稿を書き始める頃、各地から桜の花の満開の便りが届く。日本中、桜の花が山々や川の土手、田んぼの畦道を白色やうす紅色に染めて美しい。

「さくら」の語源の一つに農耕の神様を意味する「さ」という言葉に、神様の居場所を意味する「御座(みくら)」の「くら」が合わさって「さくら」になったという説がある。農民のお花見は稲作と深い関係があったのだなあとと思う。また、花ことは「高潔」「優れた美人」だそう。桜の花を眺めていると、豊作を願う花見も高貴な花だと愛でる心もうなずいてしまう。

さて、いろいろと創立百周年記念事業に取り組んできたが、その一つとして資料館の南の庭作りがある。お弁当を頂いたり、ちよっとした集会を開いたり回遊したりと楽しめる広場ができた。そのまわりに植樹することになったが、やはりここは桜が一番だと考えられたようだ。もともと大きなソメイヨシノがあった。それを中心に、河津ザクラ、啓翁ザクラ、枝垂れザクラ、オカメザクラ、陽光ザクラ、暖地サクラソノ、ジュンペリイなどが植樹された。これまでの百年も楠や銀杏など沢山の樹々と共に育ち、見守られてきた明高。これからの百年もまた、桜の木々を加えて大きく育ち見守って欲しいと願っている。植樹を終えた暖かい日に、記念茶会がこの庭で開かれ、穏やかな時を過ごしたそうだ。

(幸)

次の 100 年へ 新たなステージが始まります!!

創立以来、時代の要請に柔軟に対応してきた「明中・明高」の教育は、今まさに 101 年目の新しい時代を迎えています。更なる本校の発展を目指し教職員一丸となって取り組んでいきます。

－ 「STEAM 探究科」 がスタートしました！－

令和 6 年度、本校では産業界と連携し、教科の横断的な学びに取り組む「STEAM 探究科」がスタートしました。本校の特徴として、①「A = アート」と捉え、県立学校で唯一の美術科を有する特色を最大限に活かし、「美術とサイエンス」を素材とした基礎的な探究活動を単元として取り上げ「アート思考」（多様性、創造性、表現力等）の育成を図る。②近隣施設である市立天文科学館長を総合コーディネーターに迎え、天文館との連携により、天文学的な創造性を育んだり、プラネタリウム設備を活用したデジタル表現に挑戦したりするなど、立地条件を活かした本校特有の STEAM 教育を実践します。③担当教員には、数学、理科、国語、美術、情報の教員を配置し、文理を問わず多領域を融合させた学びの展開が可能となるようにしています。

STEAM 一期生は、こうした探究活動を通じて基礎的な研究の手法や知識を育み、より本格的な研究へと発展させ、自身の興味関心に応じた課題に取り組むこととしています。

これまで経験したことのない本校特有の探究活動を通じ、毎時間、生き生き取り組んでいます！



両手でスティーム探究科の「S」を示す 1 期生 進路希望実現に向けスタート!!

－ 令和 7 年度明石高校は「普通科（単位制）」に変わります！－

先述の「STEAM 探究科」は、単位制として教育活動を展開していますが、令和 7 年度からは、普通科と美術科もこれに続きます。単位制の趣旨を踏まえた教育課程の再編、少人数授業の展開や豊富な選択科目の設定など、キャリアデザインを育む学習支援体制の整備に取り組んでいます。

さらに、本校は令和 6 年度、国の事業「DX ハイスクール（デジタル人材育成推進事業）」に採択されました。今後は高度なデジタル機材・設備の導入により、① DX を最大限に活用した連携企業からの指導プログラムの充実や、②国内外での関係校とのリアルタイムでの交流が可能となるなど、単位制への移行とともに、教育内容の無限に広がり心弾ませています。新たなステージへまっすぐに！

写真で振り返る記念式典



明中祠合祀の言葉（草川会長）



合祀を待つ明中祠



記念庭園のテープカット



100周年シンボルの記念碑



子午線観測台と説明板



記念式典開会のあいさつ（北中校長）



明中校歌独唱の
安藤勉さん（中18回）

式典会場（明石市民会館）



第2部記念講演（古田敦也氏）



音楽選択生徒による明高校歌の合唱

100年を越えて 新たなステージへ!!

100周年記念事業

実行委員長 **永井 邦治**
(高27回)



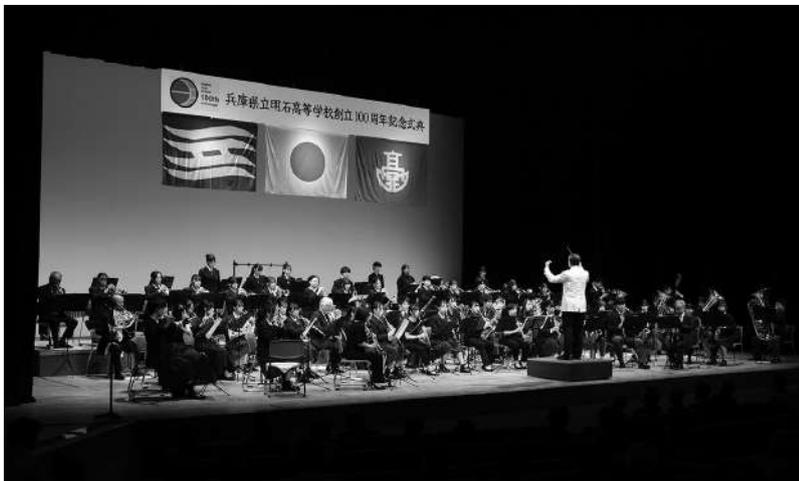
自彊会の皆様、母校明石高等学校創立100周年記念事業への絶大なご支援、ご協力誠にありがとうございます。実行委員会を代表しまして心よりお礼を申し上げます。

昨年5月の本校と中京大中京高校との硬式野球部の交流会を第一弾として、星を観る会、記念美術展、記念式典並びに祝賀会を開催したほか、重厚な100年史の編纂や記念庭園の整備をはじめとした校内の環境整備を行い、正門を入った右手に100周年にふさわしい立派な記念碑が設置されました。これらを実現できたのは、同窓の皆様や明石高校にゆかりのある皆様にお願ひして参りました募金への力強いご協力の賜物です。また、各事業の実施にあたりましては同窓会、教職員並びにPTAの皆様の献身的なご協力をいただき、円滑に進めることができました。ただ、新資料館の建設が手続き上の課題から延期となったことは残

念ですが、一年後の完成に向けてしっかりと準備を進めてまいります。

さて、明石高校は100年という大きな節目を迎えました。創立以来築いてきた歴史と伝統、そして自治・協同・創造の校訓のもとに脈々と引き継がれてきた素晴らしい校風を大切にしつつも、刻々と変化する現代社会に合わせて新たなことに取り組んでいくことが求められています。

今、明石高校では、これまでの理数探究類型をSTEAM探究科へ改編するとともに、普通科・美術科への単位制の導入など、更なる教育活動の充実と魅力ある学校づくりを推進しており、まさに新たなステージへと歩み始めました。創立100周年を機に実施されるこれらの取り組みにより、素晴らしい成果が得られることを願うとともに、同窓の皆様には、校歌にある「わが学舎を永久に守る」の思いを今一度新たにしたいいただき、母校の更なる発展に向けて、引き続きご支援下さいますようお願いいたします。



第3部演奏会で記念楽曲を披露



司会進行役の赤江珠緒さん(高45回)

石高等学校 創立100周年記念祝賀会



舞子ピラで祝賀会開催



万歳三唱でお開きとなった祝賀会



会場を盛り上げる音楽部OBの演奏



佐々木：この和歌が読めたことも今回の収穫ですね。

青 木：7月17日、全校生に中部講堂で井上館長から「子午線の歴史」の講演いただき、7月28日には「星を観る会」を開催しました。その際、天文科学館から運ばれたザルトリウス子午儀が、観測台上に95年ぶりに設置され、歴史的場面の再現に立ち会えたことが幸せでした。

原 田：昭和3年の観測ですから、95年ぶりになるのですね。

毛 笠：創立100周年に相応しいイベントでしたねえ。

青 木：「星を観る会」は天文科学館スタッフ、ボランティアの方々の協力で、参加した子供も大人もグラウンドに寝転んだり、望遠鏡で夏の星や月を楽しみました。また、本校演劇部による明石の子午線をテーマにした演劇が中部講堂で公開され、小学生や中学生、保護者の方々に大好評でした。

原 田：校内の隅で多くの人に知られることなく約100年、より良い環境に観測台が移設保存されたことにホッとしています。この事業は学校、同窓会、PTA、天文科学館等の協力があればこそ!と考えています。また現役の学生の協力が得られたことはこれからの同窓会活動の新しい形になると期待できますね。

佐々木：私もそうだと思います。会報のテーマ、「昔、そして今」が形となった記念事業と言えますね。



和田君へ

やってるか〜。そっちの世界でも？

小、中、高と彼とは一緒でしたが、私と違ってパッションの塊のような彼とは、出会ったら「オッス」と声を掛け合うぐらいの付き合いでした。ところが、縁あって母校の教頭に赴任した時、校門入って右手にある明高バスケットボール部活躍記念碑の前で立ち話30分以上、彼のバスケットにかける熱い気持ちを聞いたのを思い出します。

また、何年前の「自彊会だより」の巻頭言で彼は現役高校生時代兵庫県代表として全国大会に出場した際の試合の実況風景を紹介しました。その時私が「巻頭言よかったなあ。プレーが動画を見ているように想像できたわ」と言うと彼は「巻頭言にあんなもん書くもんちゃうと言われるんや」と答えたが、「とにかく俺は感動した」と私が言うと「そうか、嬉しいわ!!」という彼とのやりとりも懐かしく思い出します。

私と彼の思い出の何十倍、何百倍、何千倍、あるいはそれ以上の思い出を持つ28回生の仲間がいます。そんな仲間と一緒にそのうちみんなそっちに行くから、そっちでも「今ぞ!集え〜戸」で同窓会せえへんか?

合掌

森本 克茂 (高28回)



(写真提供 高28回 坂東君)

会長就任5年目の2023年6月24日夜、突然の事故で旅立たれた和田直樹同窓会長は、多くの方に強い印象と影響を残されました。特に、100周年記念事業実行委員会の副委員長として募金活動の先頭に立ち、活躍頂きました。目標額を大きく越える募金が集まったのは、一重に和田氏の行動力の賜物

と思われま。弔文を明高の元教頭であり、和田氏とは小学校から高校までの友であった森本氏に書いていただきました。和田元会長のご冥福をお祈り致します。

100周年記念事業募金の報告

自彊会会員の皆様より多額のご寄付を頂きました。厚くお礼を申し上げます。

募金目標額	3,000万円
募金の総額	39,169,493円
協力者人数	1,585名 17団体

尚、残金の使途等につきましては、同封しております「募金協力者一覧」をご覧ください。

こんなの知ってた？

“東経 135 度子午線の通過点は明石中学での計測で決まりました！”

母校 100 周年の記念行事の一つとして、校内第 2 グラウンドに残されていた東経 135 度子午線観測台を正門付近に移設し、その歴史の説明表示板を新たに設置しました。

この移設に関係した人たちに集まってもらいました。

〔東経 135° 子午線通過地決定の経緯〕

「日本標準時、東経 135 度は明石を通っている」。小学生でも知っていることですが、でも「それはどのようにして決まったの？」について知っている人は少ないかも。

その通過位置決定に明石中学校が深くかかわっていたのです。

1886 年（明治 19 年）、英国のグリニッジ天文台を通る子午線の時刻を世界標準時とし、それから 9 時間の時差になる東経 135 度上の時刻を日本標準時とすると決定されました。

1910 年（明治 43）明石小学校校長会は東経 135 度の通過点を市民が知ることが重要と考え、測量地図に基づき実際の位置を特定し標識を建てました。日本最古の子午線標識です。しかし 1915 年（大正 4）の日本地図原点修正により、標識の位置は地図上のそれとずれてしまいました。

そうした状況の中、当時の明石中学校長・山内佐太郎氏が京都大学・野満隆治博士に天文学上の子午線の正確な通過位置を特定するための観測を依頼しました。それを受けた京大観測チームは 1928 年（昭和 3）明中学校内の宿舎（明中塾）に約 1 か月滞在しての天文学法による計測の結果、「東経 135 度経線は観測位置より西へ 470.4 m 西を通過する」とされ、現在の位置が特定されました。その時の計測に使われた「ザルトリウス子午儀」は明石市指定文化財に登録され、現在も明石天文科学館に保存展示されています。

一方観測時明中塾南庭に置かれた観測台はその後同じ位置に置かれ、96 年後の現在まで第 2 グラウンドとなっている校内南西角に残されていました。そして時の経過とともにその事実も計測台のこともほとんどの人が知らない状況になっていきましたが、創立 100 周年

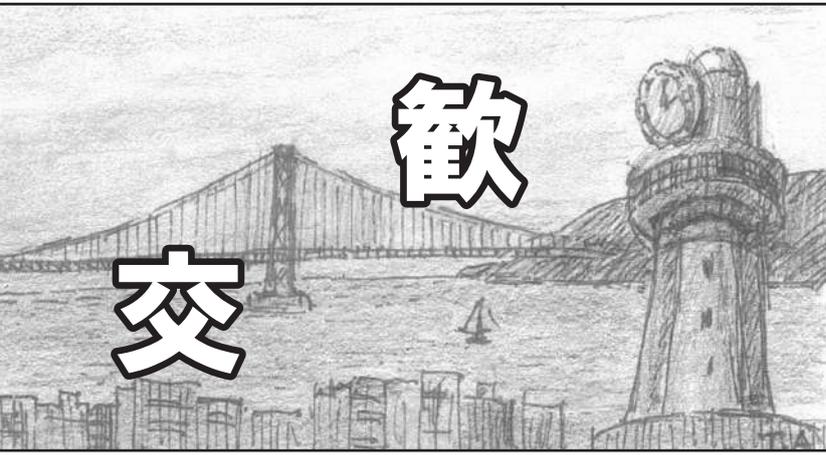


を迎えるにあたり、観測台の移設保存が決まりました。



〔座談会〕

- 原 田：創立 100 周年事業のひとつとして子午線観測台の保存が取り上げられ青木教頭と共に移設場所の選定、保存方法など検討しました。当初は簡単に考えていました。
- 青 木：私も同じで、現場を確認しまして、観測台を第 2 グラウンド置くと生徒の部活動の障害になるから、どこか別の場所に移動かな、という認識でした。
- 佐々木：私は子供の頃から子午線観測に使われてものだと知っていましたが、ほとんどの明中・明高関係者はご存じなかったと思いますよ。
- 原 田：明石天文科学館の井上館長に、「観測台は観測が行われた明石高校内に存在するからこそ意義がある」との助言を戴き、これは大役だと認識しました。
- 青 木：昨年夏、校長や原田さんとも相談し、もっと人目に触れる場所へ移設し、子午線観測が明高で行われたことを多くの方に知っていただきたいと強く思いました。
- 原 田：校門に近い本館南側の花壇に移設し、校内での子午線通過位置計測の経緯などの説明板の設置などが決まりました。説明板の文案を作成するに当たり、市内の子午線関連史跡を見て回ったりして、改めて観測台の校内保存の意義を認識しました。
- 毛 笠：計測台の銘板には観測の経緯とともに、山内校長が詠まれた和歌が記されていますが、あまりの達筆が読み取れませんでした。書道の佐伯先生の尽力で解読できました。「日の本の 天地のむた きわみなき ときの基は 定まりにけり」とあります。



イラスト・安藤 勉 (中18回)

明高会 (旧職員のか)

令和6年3月9日(土)グリーンヒルホテル明石において、6年ぶりの開催となった第10回明高会(明石高校旧職員のか)に38名が集い、旧交を温めました。

冒頭に旧職員物故者追悼の黙祷を行った後、世話人を代表して尾崎守先生のご挨拶で開会。続いて、ご来賓の北中睦雄校長先生から、今年度盛大に開催された創立100周年記念式典、関連事業などの取組やSTEM探究科の創設や単位制への改



第10回 明高会 令和6年3月9日(土) グリーンヒルホテル明石

編、生徒の活躍などのご報告をいただき、参加者一同今後のさらなる飛躍を祈念いたしました。

その後、高木正皓先生のご発声による乾杯で始まった歓談の時間は、それぞれの勤務時の思い出話を花を咲かせ、笑い声が絶えず大いに盛り上がりました。

祝宴も終盤、創立100周年の実行委員長を務められた永井邦治先生、そして、この会の発足にご尽力された谷内豊先生から、心のこもったお話をいただきました。

大変楽しく和やかに過ごした時間もあっという間に過ぎ、濱田浩嗣先生のご挨拶で閉会の運びとなり、全員が一つの輪になって歌声を響かせた校歌斉唱、永井邦治先生のエールで最高潮に達し、最後の会となった余韻を惜しみつつ会場をあとにしました。

高校12回

西村 培史

コロナの影響で同期会の開催を延期していましたが、この度、6月26日、西明石の「ホテルキャッスルプラザ」で5年ぶりに開催致しました。

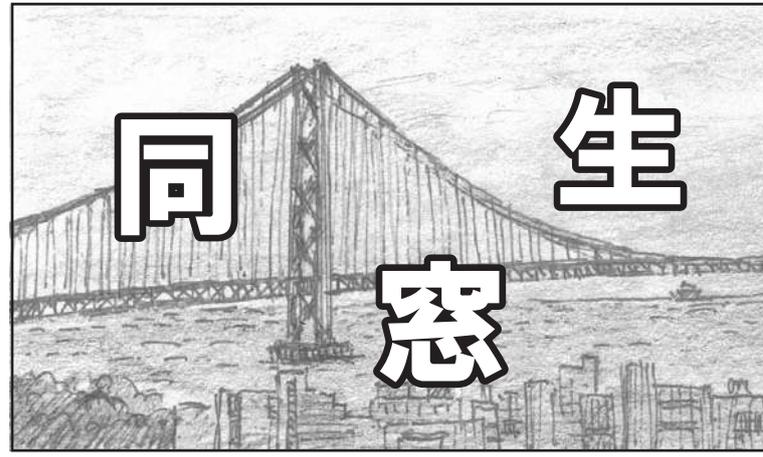
高齢の影響もあり、参加者も前回より少なくなりましたが、幹事の皆さんの呼び掛けもあり、43名が参加した同期会となりました。

まず、記念撮影から始まり、逝去された同期生への黙祷をした後、懐かしい校歌を斉唱すると、気分は一度に高校時代に戻りました。乾杯の後、歓談に移り、遠方からの参加者からの一言を始め、近況報告等もあり、和やかで楽しいひと時を過ごしました。最後に応援歌を全員で歌って盛り上がり一次会を閉会し、二次



会は希望者が別会場に移り、カラオケやお喋りで楽しみました。

今回も様々な事情で参加出来なかった方が多く居りましたが、今後はこの同期会をきっかけに、気軽に集えるグループがいくつも生まれて、新たな交流が広がる事を期待しております。最後になりましたが、会を盛り上げる為に様々な努力をして頂いた幹事の皆様に感謝申し上げます。



傘寿記念高校13回

橋 幸男

コロナ禍で少し遅れていたのですが、傘寿記念の会を令和5年10月20日にグリーンヒルホテル明石で開催した。卒業生の「6分の1」の人数にあたる64人が出席して、盛大な会を開催することができた。近畿圏以外からは、九州から関東までの11人が元気な顔を見せてくれた。13回生は、第1回同窓会を昭和56年8月16日に開催してから、今回が13回目の開催であった。

81歳という年齢を迎えた私たちゆ



えに、この日までに判明していた物故者は95人で、同級生380人のうち、ぴったり「4分の1」の方が旅立ってしまったている。

健康状態などがみんなの関心事であるので、開催案内葉書の返信欄に書かれた近況報告などを、出席者・欠席者別に、全員のコメントを取りめた冊子を作った。そして、当日のプログラムでは、特別な催し物などを設けず、旧クラスごとに全員に舞台に立って一人ひとりに近況など

高校17回

石井嘉門

を話してもらった。また、同窓生（自彊会の元会長）の竹内信六さんは明石高校の現在の様子を報告してくれた。会合の最後は、校歌・応援歌と「高校3年生」の大合唱で盛り上がり、次回での再会を約して幕を閉じた。

平成23年5月に開催した同窓会で、私たちは「見はるかす明高時代」という167ページの文集を発刊したが、今回の同窓会に際しては『続・見はるかす明高時代』という続編を発行した。今後は、同級生の動静を知らせ合う『通信』を不定期に発行する予定である。

令和5年5月25日、舞子ビラで明高17回生同窓会が開催された。参加者数は59名で前回のときよりも参加者は少なかった。

今回は、わが明石高校が明石中学校開校以来100周年を迎えることに加え、私たちの学年にとっては喜寿を迎える年度にあたり、慶び事が重なったが、参加者数が減ったことにはいささか寂しさを覚えた。

私たちの高校生時代は、高度経済成長の時期で、初のオリンピック開

「米寿の祝い」お知らせ

明中1回生から続けてきました「米寿の祝い」は、二学年と一緒にさせて頂いております。今回は高校7、8回生の皆様を対象とさせていただきます。

9月初旬に住所が判明している方へ、ご案内のお便りをお送りします。お楽しみにお待ちしております。

催、東海道新幹線の営業開始などがあった。そういう時代に流行した歌を参加者全員で歌っていると、ひとときその時代にそれぞれが戻ったようであった。「高校3年生」、「青春の城下町」、「学生時代」など、その時代のことが走馬灯のように思い出された。

当日、今回の学年同窓会がおそらく最後になるだろうとの世話人代表からの言葉があったが、各グループでの再会は今後も続くものと思われる。

いずれにしても参加者一同、明石高校で青春時代を過ごした「財産」を大事にしたいとの思いを新たにしたいことだろう。

古希同窓会を終えて

高校21回

丸尾 安郎

本来古希は70才を祝うものですが、21回生は、昨年10月に約3年遅れて開催しました。

コロナ禍で、ソーシャルディスタンスを保つため、中部記念講堂で、茶話会的な同窓会を模索した時期もありました。コロナの5類移行により、ようやく同窓会を開催出来ました。

当日の参加者は75名で、和やかなひとときを過ごしていただきました。また、卒業アルバムDVDを放映したことが、好評を博したと思います。私は、歴代最長期の代表幹事を自負しておりますが、今回の幹事の皆様には、3年以上の長期間、同窓会に向けて尽力をいただき誠にありがとうございます。無事に同窓会を終えることが出来まして、「感謝」の一言に尽きます。

次回の同窓会を期待する方々も多数おられますので、体調に注意して、元気にお会いに来ますようお願いいたします。

高校23回

南谷 雄司

令和5年6月3日(土)に明石高等学校第23回生古希記念学年同窓会を、神戸メリケンパークオリエンタルホテルで開催しました。

当日は、75名の参加があり、11時から記念写真撮影を行い、11時20分から学年同窓会が開催されました。開会挨拶の中で、明石高等学校



100周年事業の報告や23回生100周年記念学年募金の提案を行いました。承され募金しました。校門の石碑に23回生一同と記載されています。

開会に先立ち物故者への黙祷が行われ、司会・開会挨拶は南谷が担当し、久々の再会に会話が盛り上がり、各クラス毎の集合写真撮影が行われました。

特に当日は晴天に恵まれましたが、前日の台風の影響で新幹線が午前中止まるという状況でした。前日から新幹線乗車した方は無事参加できました。

当日のゲストとして南米ペルーのフォルクローレアーティストのアントニオ・カマケ氏をお招きしアンデス音楽コンサートが開催されました。その中でチューチュートレインが実施され、会場内にくつつかのトレインが回り、和やかな雰囲気包まれ、歓声が沸き起こり大好評でした。

毎年冬季オリピックの年に開催していましたが、新型コロナウィルスの影響で、いつ実施できるか迷っていました。新型コロナが5類になり終息し始めたのを確認して古希記念23回生学年同窓会を開催しました。今回は、喜寿記念(77歳)にあたる年に同窓会を開催することとなりました。

高校24回生古希祝同窓会

高校24回

細田 和宏

令和6年4月27日グリーンヒルホテル明石で、『明高24回生古希祝同窓会』と称して9回目の同窓会を開催しました。幹事を引き受けた当初、令和2年4月25日に開催する予定でしたが、新型コロナ

ウィルス感染症の拡大状況を鑑み、令和2年3月に『延期のお知らせ』を、さらに令和4年11月にコロナ感染が終息していない状況を鑑み、『再延期のお知らせ』を明高24回生通信『交又点24』や自彊会を通して同窓生に知らせました。そして、前回の



同窓会から8年目によく開催に至りました。

開催当日、恩師はご高齢のため全員欠席でしたが、同窓生は、北は北海道、南は九州熊本等全国各地から89名(当日欠席1名)が出席しました。

最初に物故者への黙祷、次に幹事代表挨拶、乾杯の後、歓談・会食をしながら旧交を温め、親睦を深めました。今回の特別企画として、卒業アルバムから作成した懐かしい思い出満載の動画を上映して、和気藹々とした雰囲気を楽しいひと時を共有し、最後に校歌で青春を謳歌しました。

89名の出席者が歓喜し、自彊会のご支援のお陰で8年振りに開催できたことに感謝し、幹事7名が一丸となって歓待した『明高24回生古希祝同窓会』は滞りなく終了しました。

ありがとうございます。かけがえのない心友と古希を祝うは、運もご縁も

高校26回

上山 宏

50年ぶりに母校に集まりました！

私たち26回生は、高校3年の時に創立50周年を迎えた学年で、明高が創

立100周年を迎えた昨年は、卒業してちょうど50年目の年でした。そこで「50年ぶりに母校に集まろう」と、10月14日に同窓会を開催しました。

今回は、飲食はなく参加費無料で、自彊会だよりに載せたQRコードから参加を申し込みむという方法をとりましたが、50名ほどの方が、遠方は関東からも集まってくれました。

はじめに、50年前とはすっかり変わった校内を散策し、懐かしい母校の記憶をたどったあと、新しくできた100周年記念碑の前で記念撮影し、中部講堂の中に入りました。

昔と変わらない中部講堂の中で、100周年記念行事の様子を動画で



見たあと、それぞれの近況を報告しあい、最後にみんなで校歌を歌って、楽しく和やかな会を終わりました。次回は、古希のお祝いの同窓会をできればと思っています。

高校31回

吉田 信次

念願の「還暦！赤い同窓会」を開催

苦渋の延期案内は2020年4月でした。お待たせした期間は三年余、とにかく開催にこぎつけることができて本当に良かったなあと感じています。準備をしてくれた幹事さん、受付や写真撮影などを手伝ってくれたみなさん、そして110名の参加者みなさん、ありがとうございます！

恩師のご出席は安田先生お一人でした。ご挨拶をいただきましたが、先生、われわれよりお若いのではないですか。また他の先生方の近況をお知らせいただき、ありがとうございます。

今回は60歳の節目、還暦同窓会ということで何か一つ赤いモノを身につけて参加してくださいとお願いしていたのですが、帽子、シャツ、ドレス、チーフなど、みんな思い思いに

素敵なものをつけて来てくれました。

今回も司会を務めてくれたのは伊澤くん。彼は真っ赤な野球のユニフォームを身に纏い、「ボクは決して某チームのファンではありません」と言いながら進行してくれました(嗚呼！彼は熱烈なタイガースファンなのだ...)。

ひとしきり歓談した後は、出席者が身につけてきた赤いモノにまつわるエピソードを披露するインタビュertime。赤いちゃんちゃんこの武田



君、赤いカーディガンの竹中さんの「タケ・タケコンビ」に進行を引き受けてもらい、みんなにもマイクを持ってもらいました。

いつにも増して大いに盛り上がり、時を忘れる「赤い！熱い！」還暦同窓会となりました。

高校32回

宮脇 貢

明高100周年の記念の年に、32回生感激の再会！還暦同窓会を開催！！

私たち32回生、2021年が「還暦同窓会」の開催年。「32回生」？ピンとこないのではと「還暦・60歳は丑年生まれと寅年の早ゆきの学年です。」と呼びかけ、準備は始まりました。しかし皆様ご記憶の通り、まさしくコロナ感染症の不安の真っただ中。そして、そして、平穩を取り戻した2023年8月12日、ついに西明石のホテルキャッスルプラザで「明石高校32回生還暦+2同窓会」の集いの時を持つことができました。卒業以来、学年全体の同窓会開催は初めて、不安の中で当日を迎えました。開始時刻が近づくとつれ、ひとりま

たひとり、懐かしい再会が積み重なり、74名の参加を得、2年遅れを取り戻す、楽しい感激の還暦同窓会の時間を持つことができました。次はみんなで何年後に集まろう、そこまで待てないから、今日を機会に楽しい時間を近々持とうよ！等々、楽しい思い出をお土産に、次の再会を約束し帰途につきました！



高校33回

磯上 美智子

2023年12月17日、グリーンヒルホテル明石に於いて、恩師の尾崎先生をお迎えし、参加者90名で盛大に還暦同窓会を開催することができました。

最初に尾崎先生から漫談のような楽しい祝辞をいただき、和やかな雰囲気ではじまりました。

明高クイズや恩師の先生方の近況報告もあり、懐かしさと嬉しさともに、先生方のお元気に励ましをいただいたような…。

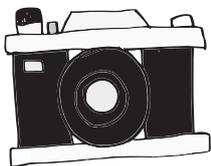
ドローンで撮影された現在の明石高校の映像もありました。皆釘付けになって見ていました。

45年ぶりに会う友との談笑の時間は、とても短く、またの開催を楽しみに会を終えました。

この還暦同窓会開催に際し、自彊会の皆様の温かいご支援をいただき、どうもありがとうございました。深く感謝申し上げます。

《33回生の皆さんへ》次回同窓会の

4・5組共同幹事さん達の準備活動もはじまっております。開催が決まりましたら、同窓会誌やホームページ、33回生グループLINE等でお知らせする予定です。また、元気で大勢でお会いしましょう。



高校 65 回

櫻井 拳人
松原 史弥



65 回生の皆さん、お元気でしょうか！2024 年の 5 月 3 日、30 歳を機に同窓会を開催しました。総勢 70 名の方に参加していただきました。卒業以来久しぶりに集う仲間や多数の先生方と、高校時代を懐かしむと共に、楽しい時間を過ごすことができました。今回参加できなかった方も、次は 40 歳を機に開催しようと考えていますので、是非ご参加ください！また、皆で集えることを楽しみにしています！

入会あいさつ

黒木 佳乃 (高 76 回)

この度は、私たち 76 回生、309 名の「自彊会(じきょうかい)」入会を認めていただき、ありがとうございます。私です。

私たちは、明日、この明石高校を卒業し、それぞれの進路に向かって新たな一歩を踏み出します。

進む道はちがっても、「自彊会」の一員としての誇りを忘れず、母校明石高校の伝統に恥じない大人になるように努力していきたいと思えます。

まだまだ若く至らない私たちがですが、これからもご指導いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

同窓会開催のお知らせ

高 20 回

10 月頃に開催で準備中
お楽しみにお待ちしております

高 25 回

古希記念同窓会 検討中
詳細が決まればご案内します

74 回生二十歳の集い

学年主任 米田 忠雄

3 月 20 日春分の日、明石高校の講堂で『74 回生二十歳の集い』が開催されました。集まったのは 50 数名と例年よりは少なめでしたが、学年団の先生方はほとんど出席され、転勤した先生も多いので、こちらもちょっとした同窓会となりました。久しぶりに会った 74 回生の面々は、大人びていて驚かされました。えらくおしゃやれになったとか背が伸びたんじやないなんて声があちこちから聞こえてきました。卒業アルバムの写真と見比べたり、担任の先生が保管していた学級日誌を回し読みして盛り上がったりと開会前から賑やかな時間が続きました。

10 時 30 分にあらためて開会しました。司会進行は代表幹事の服部君とその友達の越智君です。私の挨拶から始まり、お世話になった先生方から一人ずつ近況や懐かしい話などを聞かせていただきました。その後は旧クラス対抗のクイズ大会です。賞品はお菓子の詰め合わせやクオカード。人数の多少にかかわらず優勝クラスのみで山分けとなります。3 年の体育大会で学年 2 位のクラス

は？1 年の時のコミ英の教科書の名前は？など、何となく思い出せそうで出てこない微妙な問題から、現在の校長先生の名前は？100 周年記念講演の講師は？など明高愛があれば答えられるはず？の難問が続きました。クイズの問題も服部君が知恵を絞って用意してくれました。服部君、越智君ありがとう。

わあわあ盛り上がりつつあるうちに気が付けばもう閉会の時間。急いで記念撮影をし、同窓会から頂いたおせんべいを手に解散となりました。後は三々五々街に出て昼食会。本当に楽しい一日となりました。



美術科支部

継承していく
美術展との関わりから

10年前の美術展の頃からお世話になってる鷺森会長（高38回・美1回）、稲葉さん（高44回・美7回）、谷本さん（高44回・美7回）。

今回の美術展の目玉となったSHOWCASEをはじめ、印刷物データや、今までの美術展では無かった部分のデザインまで制作して下さった尾原さん（高39回・美2回）、関東展を仕切って下さった阿随さんと半田さん（高39回・美2回）。

半田さんは関東展用にインスタグラムのアカウントを新たに作り、SHOWCASEを取り上げる卒業生の紹介を中心に情報を発信していただいたり、関東会場である横浜市民ギャラリーへ下見に行った際にも快く案内していただいたりと、本当にお世話になりました。

トラブルが発生した時に、解決のためにすぐに動いて下さった方々にも感謝しています。

私が在学中の頃からお世話になっている先生に、精神的に辛かった時に電話をもらえて救われた日もあり

ました。

関東展の搬入日の夜。ちょっとしたハプニングが発生し、機転を利かせて下さった先輩のおかげで救われたこと。翌日の朝食も一緒に食べて、女同士でいろんな話ができたこと。本当にいい思い出となりました。

10年前の美術展の頃にも、仕事のこと、家族のこと、これからの自分の人生について壁にぶつかっていました。その時に親身になって話を聞いて下さった先輩がいたことも、その後の10年間を生き抜く力になりました。

ふたつの会場での美術展の終了までたくさん時間を費やして関わった経験が、自分が以前から憧れていた飛び込んだ、この春からの新たないくつかの挑戦の場でも活きると確信しています。

今出ひとみ（高53回・美16回）

【お礼とお知らせ】

令和5年度第17回同窓会美術科支部総会は、100周年記念美術展開催期間中にお借りした兵庫県立美術館ミュージアムホールにて、11月23日に開催しました。参加者からの温かいご意見と賛同を受け審議内容を承認頂きました。ありがとうございました。

次回第18回美術科支部総会は、

2024年7月27日（土）14時30分から

明石高校資料館にて開催いたします。

ぜひご出席頂きますようよろしくお願い申し上げます。

尚、場所の変更等、最新情報については、明高美術科同窓会ブログ、Facebook ページ、Instagram について、お知らせする予定です。



ブログ



フェイスブック



@MEIKOU.ART.REUNION



@AKASHIHIGH SCHOOL100TH

東京自彊会からのお知らせ

長尾 昌 男 (高18回)

当会では、2年毎の総会・懇親会を開催することに決めており、今年度は、佐々木知子会長の2度目の開催年となります。開催日時等は後記予告をご覧ください。

関東エリア(東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・とちぎ・銀間・山梨・静岡)の9都県に在住の皆様には、9月に入りましたらご案内をお送り致します。

自彊会の年会費(3千円)を納入頂いた9都県の皆様(昨年は199名)の年会費の一部(1/4)が、当会への支援金となることも覚え頂き、奮ってご参加ください。役員一同、お待ちしております。

2024年度 東京自彊会 「総会・懇親会」予告

- ①日時 2024年11月9日(土) 正午から
②場所 ホテル グランドアーク 半蔵門 3階(光の間)
③会費 5千円

Table with 2 columns: Position (e.g., 会長, 幹事) and Name (e.g., 佐々木知子, 水真美). Includes a note about a former member (元顧問(故人) 浜口臣邦).

高校13回 首都圏同窓会

中庄谷 康 弘

近年世界各地で紛争・戦争が勃発し、我が国でも人権に関する論議が活発・多様化する昨今、戦前戦後の誤った国策による『らい病(現ハンセン病)患者』への人権侵害に関し、知見を深めるのも意義ある事かと考え、都下東村山市の『国立ハンセン病資料館』を見学しました。入所者『平澤保治さん(現在96歳

収録時90歳)のビデオ講話では想像を絶する入所者への過酷な仕打ち及び入所者の辛苦を知り、息が詰まる思いでしたが、その恩讐を超え冷静に且つ原稿を見られることなく55分間話される事に感動し、講話の後に館内で各種資料を間近に見る事により一層理解が深まった思いでした。

資料館は入所施設『多摩全生園敷地10万坪強』の一角にあり自然豊かな同園には入所者が育てた樹木及び入所者の手で建築された歴史的な建造物が残されていますが、当日は強い雨及び桜の開花が遅れたこともあり、残念ながら散策・見学は見送りしました。

見学に先立ち西武新宿線東村山駅前の『コロナで急逝』された当市出身の『志村けん』さんの銅像の前で集合・写真撮影の後、一寸とおしゃべりなイタリアレストランに於いて参加者12名で懇親を深めました。



人事異動

☆ 転退任 ☆

- 山本 幸生 先生 [教頭] (姫路聴覚特別支援校へ)
田中 良紀 先生 [地歴] (退職)
中江 涼 先生 [理科] (星陵高校へ)
石原 友心 先生 [理科] (相生高校へ)
野波 理恵 先生 [事務] (神戸聴覚特別支援校へ)
里 知純 先生 [教頭] (県立教育研修所より)
高尾 かほり先生 [事務長] (播磨東教育事務所より)
田中 伸治 先生 [理科] (星陵高校より)
衣笠 正人先生 [地歴] (伊川谷高校より)
大江 秀和 先生 [地歴] (須磨友が丘高校より)
伊藤 みずほ先生 [理科] (愛徳学園より)
島 宏人 先生 [実習] (新採用)
安倍 直子 先生 [事務] (明石清水高校より)

お世話になりました

ごあいさつ



山本 幸生

明石高校では1年間お世話になりました。創立100周年という大きな節目の

年に明石高校で勤務できたことを大変うれしく思っております。記念式典をはじめとする様々な100周年記念行事で、同窓会、PTA、歴代校長先生方々等、たくさんの方に出会うことができました。そして、お会いした方々から、明石高校の輝かしい歴史と伝統、明石高校に対する熱い思いを聞き、身の引き締まる思いで仕事をして参りました。

教育学者で森信三先生が「人間は一生のうち逢うべき人には必ず逢える。しかも、一瞬早すぎず、一瞬遅すぎない時に」という有名な言葉を残されています。明石高校を1年去ることになりましたが、出会えた人全てが会うべき人だったと思っております。

明石高校で勤務して出会った人との縁を大切に、これからも微力ではありますが、明石高校を応援していきたいと思っております。皆様の益々の発展を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

明石高校での9年間

中江 涼



前任校の排気ガスと過労から解放されて来た明高は、環境に恵まれたよい学校でした。四季で変化

する動植物、校内で採れるスズメバチやアケビなどの食材は、私の密かな楽しみでした。

青学年70回生の担任としての3年間は、私に負けないぐらい個性豊かな生徒や優しい学年団に支えられて過ごしました。SECOMセットを覚えた着任初日から、インフルの高熱で記憶のない卒業式までの刺激的な日々は、いい思い出です。

また、教務部では6年間お世話になりましたが、部員、教育課程が毎年のように変化し続け、コロナ↓新カリ↓新学科導入と、非常事態が続きました。人間とは思議なもので、たまに暴風雨の中をピクニックしているような楽しい気分になりました。きっと、その暴風雨の中を明高が耐えたのは、被災しながらも多くの先生方が教務部を支えてくださったからであると、大変感謝しております。

最後に、変化していく明高のこれからのご発展を、心より祈念しております。今まで大変お世話になりました。

感謝

石原 友心



明石高校には、大卒を卒業してから2年間講師として、1年目は76回生2学年

付、2年目は78回生1学年付として様々な経験をさせて頂きました。また、明石高校在籍中に兵庫県教員採用試験に合格し、今年度からは兵庫県立学校の教諭として働くことになりました。明石高校では、素直で明るい生徒たち、素晴らしい先生方と2年間を過ごすことができ、本当に恵まれていたと感じております。1年目は主に化学、2年目は生物と地学を担当しました。幅広い分野の理科の授業を担当して、改めて理科って面白いと感じることができました。私は、この理科の面白さを生徒に伝える授業を実現するために、日々努力し続けようと思えます。最後になりますが、教員人生最初の2年間を明石高校で過ごすことができ本当に幸せでした。ありがとうございました。

ようこそ明高へ

ごあいさつ

里 知純

このたび、山本教頭の後任として県立教育研修所より異動してまいりました。

教頭を務めるのは本校が初めてであり、昨

年度創立100周年を迎えた伝統ある明石高校への着任は、身の引き締まる思いです。それと同時に、これから始まる日々を思うと、とても楽しみでワクワクしています。

今年度は創立から101年目となります。正門前には「100年を越えて新たなステージへまっすぐに!!」の横断幕。明石高校の、次の100年の第一歩に、みなさんと一緒に挑戦できる喜びを感じています。

さらに、今年度スタートしたSTEM探究科では「学びたいなりたいたをデザインする」のローガンを掲げています。これは、子どもたちが在りたい未来を創造するため必要な力であり、明石高校生全員が目指すべきことであると思っております。私も、明石高校生が「学びたいなりたいたをデザインすることを実現できるような力を尽くしてまいります。そしてこれまでの卒業生、先生方の思いを受け継ぎ、今在籍する子どもたちがより充実した学校生活を送れるよう精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。



チャレンジ明高!!

'24年4月進路結果

この3年間...そして今 それぞれの場所で

76回生学年主任 塩谷 裕司

2024年3月1日金曜日、第76回卒業式が挙行され、309名が本校を巣立っていきました。3年は振り返ればあつという間で、時の流れの早さに驚かされるばかりです。自彊会並びに会員の皆様には、様々な場面で本当にお世話になりました。心よりお礼申し上げます。ほんとうにありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症蔓延に関わる制限と学校生活にどう折り合いをつけるのが入学当初からの大きな課題でした。入学後すぐの大蔵海岸BQ(完全に「三密に抵触」)の代替案を考える際、学年団の先生方と「どんな状況におかれても、それを楽しくしようとできる人をひとりでも多く増やしたい」そのためにはまず我々が楽しんでしまうことが重要」と共通認識を持ちました。もともそのような考え方を76回生諸君の多くが持つようになってくれたのです。彼らは常に明るく元気に前向きな気持ちで動いてくれました。ほんとうに嬉しかったし心強かったです。2年間続いた特別Verの明高祭や体育大会、秋に2泊3日で鎌倉・富士山方面へ出かけた修学旅行はイレギュラーであったが故に心に残るものとなりました。そしてすべての制

明石高校過去3年間の進路実績

Table with columns for University Name, R3, R4, R5. Includes sub-tables for National Universities and Public Universities.

Table for Private Universities (私立大学) with columns for University Name and counts for R3, R4, R5.

「ひとりひとり、自分がしたいことができるワンランク上の進路先へ」を学年団の、彼らには「自分のベストを尽くそう!」を合言葉に、2年生修学旅行明けあたりから本格的な進路実現に向けた取り組みを始めた。進路実現は、まさしく生徒と我々教員との共同作業です。それは

これまでの時間の中で積み重ねてきた人間関係が試される場でもあることを再認識させられました。さて本年度の進路結果は左表のとおりです。就職は4名で、すべて民間就職でした。進学との間で揺れ動く中、担任との複数回にわたる面談で考えを整理し、自ら決断して見事に採用を勝ち取ってくれました。国公立4年制大学は浪人1名を含む45名の合格(進学は40名)、私立4年制大学は浪人21名を含む56名の合格(進学は213名)、専門学校は12名の合格(進学は37名)、大学校は1名、そして捲土重来を期し来春の入試に向かう10名という内訳です。国公立大学合格者のうち、神戸大学を含む15名が総合型・学校推薦型による合格で

す。高校時代の活動、小論文、志望理由書など「生徒のこれまで」が問われる入試方式で、かつ面接で「人物そのもの」もみられ、私は本校転勤後5年間、担任や学年主任として生徒と関わってきました。本校生徒は、これまで勤務した他校生徒と比した時、概して「明るく穏やかで素朴・素直な高校生らしい高校生」という特質を強くもつように思われます。この素晴らしい特質を活かすことができるのか、これが総合型・学校推薦型入試ではないか、本校生徒諸君はこの入試方式にこそ強みを発揮できるのではないかと考えます。

新しい年度が始まり、76回生もそれぞれの場所に散らばっていきました。かつての自分がそうであったように、

大きなワクワク感とその裏にそれ以上の不安や戸惑いを抱えつつの生活であると思います。人が居場所を移すとき、必ずそこには理由があるような気がしますが、例えば誰かに出逢うために、例えば何かをするために...しかしその理由は、おそろしくその場所をベストを尽くせた人だけが、その場所を動いてからしか(事後的にしか)わかりません。どんな状況におかれても、それを楽しんでしまおうとできる彼らならきっと大丈夫だと確信しています。

最後になりましたが、自彊会の皆様には新会員となりました76回生に今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

自分の課題を乗り越え
世界を広げに行こう

現顧問 田中 良紀

明石高校創立100周年記念式典で音楽部は、明石高校のために作曲された吹奏楽作品『ほのぼのと〜明石海峡の夜明けに〜』を披露しました。この曲は兵庫教育大学名誉教授で作曲家の保科洋（ひろし）先生により明石高校校歌をモチーフとし、明石の情景をイメージする曲として書き上げられました。

私は2021年4月に明石高校に赴任し音楽部の顧問を引き受けることになり、2年後に明石高校が100

今昔物語

vol. 1 音楽部



周年を迎えると聞きました。音楽部は明石高校の中でも最も古い歴史を持つ部活動のうちの一つです。そして吹奏楽の世界では現役・OB共に輝かしい実績を残してきました。私自身も明石出身で吹奏楽に親しんだ一人であり、明石の吹奏楽を語る上で明石高校の存在は欠くことのできないものでした。そのような明石高校が100周年を迎えるにあたり、音楽部としても何かしなければならぬのではないかと感じました。

その年の夏。本校で時間講師をしておられた吉田眞司先生（高21回）を通じて同窓会へ「明石高校のための曲をプロの作曲家に依頼してはどうか」という提案をさせていただき

ました。その結果、同窓会からもぜひ進めるようにというお返事でした。次は誰に依頼するかということになります。私の中では「保科洋先生以外考えられない」と思っていました。ただ、先生はここ数年のうち

に2度も命にかかわるようなご病気に遭遇され、また年齢のこともあり仕事を減らしておられることを知っていたので受けていただけるかどうかが心配でした。そこで、保科先生が主催する吹奏楽団「アルビレオウィンドアンサンブル」の代表を務めておられる桑原孝雄氏（高22回）を介してお願ひし、快諾いただきました。

保科先生の作曲方法は基本的に自由に発想し、既成のイメージにとらわれずに進められます。しかし今回は「使うかどうかはわからないけれど…」という前提で明石高校校歌の楽譜の提供を求められました。実は、保科先生は兵庫教育大学で明石の吹奏楽関係の何人かの先生方を教えられたことがあり、明石へは吹奏楽指導や釣りに何度も来られていました。そのようなゆかりの中から『ほのぼのと〜明石海峡の夜明けに〜』が完成しました。

ならず広く演奏されてほしいですし、音楽部としても機会があることに演奏したいと考えています。

『After コロナの部活動』

部活動



応援歌、校庭行進曲

「若き日の歓び」を指揮して

元顧問 山本茂之

創立100周年記念式典の記念演奏の部において、明石高校応援歌と校庭行進曲「若き日の歓び」を僭越ながら指揮させていただきました。卒業生、旧職員、そして音楽部の元顧問として、大変光栄なことと感謝しています。折しも会場には応援歌の作曲者である河西まり子先生もいらっしやいましたし、先輩諸氏や同級生、後輩や現役の高校生の皆さんも歌ってくださる場面と思い、つい会場の方を向いて指揮をしてしま



ました。

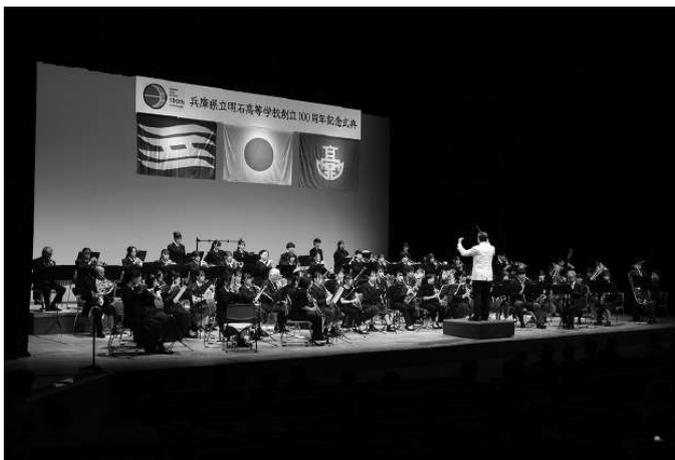
応援歌と校庭行進曲は、これまでも先輩から受け継がれ様々な機会を通じて演奏されてきました。特に校庭行進曲は明石市内の吹奏楽部員はみんな演奏でき、国体の行進曲にも使われるなど広く全国に知られた曲です。これからも明石高校を語るにふさわしく素晴らしい両曲が永久（とわ）に歌い継がれ演奏されることを願うとともに、音楽部の今後益々の発展を祈っています。

以前から明石の吹奏楽は中学校と高校が一緒に、OBやゆかりのある音楽家などから指導を受け、クリニクや研究発表会などを通じて全体のレベルアップを行いそれなりの成果を上げてきた。しかし成果が上がった結果、明石の吹奏楽全体の規模が大きくなり小回りが利かなくなった。多くの行事も行われるようになったが、日々の活動が行事に追われるような形になっていった。そのような中でコロナ禍が追い打ちをかけ、練習時間の短縮、正しく楽器を奏するテクニクを身につける余裕もないなど明石の吹奏楽が低迷気味な原因の一端があるように思われる。

一方、コロナ禍で出来なくなったことはいくつもあるが、行事を取捨選択し実施方法を工夫するきかっけになったのも事実である。コロナ禍で時間ができてしまった当初は戸惑いもあったが、活動時間も制限され従来通りのことはできないと分かった今は部活動本来の姿を取り戻す絶好のチャンスなのかもしれない。しっかり練習して楽器を好きになる。好きな楽器をみんなと一緒に奏でて音楽を作り上げる。丁寧に作り上げた音楽をいろいろな方々に聞いてもらう。という原点に立ち返って。

我々はコンクールの賞など結果にとらわれがちだ。それ以上に大切な

のは、本番に向けての活動が充実していたか。自分の課題を乗り越えることができたかである。その中で一歩でも前に進めておれば音楽部として極上の活動だったといえる。楽器がもつとうまくなる。自分の演奏を客観的に聞けるようになる。そして自分の楽器でいろいろな表現を工夫してみよう。多くの良い演奏を聴く。何が違うのかを考える。いろいろな音楽の勉強をする。つまり音楽という好きなものを通して自分自身を表現し、そのために学び、自分の世界を広げていくことが部活動の醍醐味なのではないだろうか。



2024 年度同窓会役員

会 長

草川 雄二(高 11 回)

副会長

安藤 勉(中 18 回)
加護谷榮章(高 7 回)
佐々木卓郎(高 18 回)
南谷 雄司(高 23 回)
福本 明彦(高 30 回)
鷺森 智美(高 38 回)

常任理事

長塩 知子(高 18 回)
藤丸 達美(高 21 回)
竹林 秀野(高 28 回)
毛笠千代乃(高 30 回)
北田 硬(高 30 回)
吉田 信次(高 31 回)
矢田 康成(高 31 回)
堀田 健一(高 34 回)
川端 大造(高 38 回)

監 査

竹内 信六(高 13 回)
伊川美智子(高 16 回)

顧 問

北中 睦雄(校 長)
清水 正孝(高 3 回)
浅田 弘子(高 6 回)
茨木 智(高 8 回)
米澤 淑介(高 12 回)
三浦 宏(高 14 回)
今村意一郎(高 16 回)
松本嘉代子(高 16 回)

学年理事

安藤 勉(中 18 回)
(高 1 回)
(高 2 回)
桃尾 行男(高 3 回)
溯上 初美(高 3 回)
宇治原三貴(高 3 回)
黒田 克己(高 4 回)
戎井 皓二(高 5 回)
尾上てる予(高 5 回)

小野 淑子(高 5 回)
(高 6 回)
安藤 博美(高 7 回)
石井 清隆(高 8 回)
嶋崎 晴夫(高 8 回)
堤 明(高 9 回)
小山 孝治(高 10 回)
藤原 博(高 10 回)
松本 武城(高 11 回)
平野 武彦(高 12 回)
渡邊 正弘(高 13 回)
橘 幸男(高 13 回)
寺田 三郎(高 14 回)
中本栄美子(高 14 回)
津野 弘子(高 15 回)
嘉藤 弘之(高 15 回)
岡本 建二(高 16 回)
奥田 寛(高 17 回)
池田 康之(高 17 回)
佐々木卓郎(高 18 回)
岩澤 武(高 19 回)
井上 利夫(高 19 回)
川井 功一(高 19 回)
茨木千佐子(高 19 回)
村松 克行(高 20 回)
藤丸 達美(高 21 回)
池内 満(高 22 回)
吉岡 保(高 23 回)
田中 雅子(高 23 回)
鶴岡 昌代(高 23 回)
河合 昭彦(高 24 回)
河合 嘉(高 24 回)
瀬川勝太郎(高 25 回)
柏木 喜義(高 25 回)
熊谷 典子(高 25 回)
谷 千寿(高 25 回)
上山 宏(高 26 回)
永井 邦治(高 27 回)
八木 雅史(高 27 回)
藤本 英子(高 28 回)
木下佳代子(高 28 回)
小椋 利雄(高 29 回)
前田 豊(高 29 回)
福本 明彦(高 30 回)
高橋 秀徳(高 30 回)
内橋美世子(高 30 回)
吉田 信次(高 31 回)

三木 翔理(高 32 回)
宮脇 貢(高 32 回)
長野 雅三(高 33 回)
松本 和三(高 33 回)
荒牧 和美(高 33 回)
酒田 智(高 33 回)
磯上美智子(高 33 回)
堀田 健一(高 34 回)
田方 宏幸(高 34 回)
内尾 英嗣(高 35 回)
石下 景教(高 36 回)
伊原 洋(高 37 回)
宮本 淳子(高 37 回)
黒木 明弘(高 38 回)
西川 昌宏(高 38 回)
廣中 芳範(高 39 回)
北山 力也(高 40 回)
梅田 光一(高 41 回)
谷口 正晃(高 42 回)
高雄 正臣(高 43 回)
稲葉 展(高 44 回)
本田 学(高 45 回)
水野あつ子(高 45 回)
藪内 健吾(高 46 回)
西山 武(高 47 回)
澤田 雅文(高 48 回)
(高 49 回)
(高 50 回)
芝 純司(高 51 回)
木村功太郎(高 52 回)
小島 一朗(高 53 回)
(高 54 回)
橋本 真彰(高 55 回)
村中 裕(高 56 回)
西角 千尋(高 57 回)
山本 芳行(高 58 回)
佐藤 匠(高 59 回)
竹内 裕貴(高 60 回)
和田 亮磨(高 61 回)
西山 直幸(高 62 回)
中下 将太(高 63 回)
小柴 智弘(高 64 回)
櫻井 拳人(高 65 回)
山内 圭哉(高 66 回)
星野 優輝(高 67 回)
平田茉有香(高 67 回)
松村みなみ(高 68 回)

山澤 勇登(高 68 回)
前山 颯太(高 69 回)
豊田 萌夏(高 69 回)
西岡 美裕(高 70 回)
木戸健太郎(高 70 回)
津崎 直暉(高 71 回)
工藤 優綺(高 71 回)
前山 颯唯(高 72 回)
有原 夢乃(高 72 回)
吉川 大和(高 73 回)
上月 彩未(高 73 回)
服部 直弥(高 74 回)
竹本 滯(高 74 回)
安岡 圭祐(高 75 回)
吉岡さやな(高 75 回)
黒木 佳乃(高 76 回)
池田 真冬(高 76 回)

兵庫県庁支部

福山 雅章(高 38 回)

神戸市役所支部

明石市役所支部

淡路支部

東京自彊会

佐々木知子(高 25 回)

美術科支部

鷺森 智美(高 38 回)

事務局

吉田 眞司(高 21 回)
寺口 吉行(高 34 回)
上田 修平(高 56 回)
荒田真友子(高 60 回)
筏 信一郎(高 64 回)
松原 史弥(高 65 回)

本部役員及び監査は理事会の承認をいただきました。

事務局よりお願い

- ①転居されたときには新住所をお知らせ下さい。
②お亡くなりになった方の連絡については、間違い防止のため、ご逝去の年月日を必ずお知らせ下さい。
③学年全体の同窓会を開催される場合、支援金をお渡ししますので、代表の方は事務局へご連絡をお願いいたします。
④事務局が常駐でないため、電話が繋がらないことも多いと思います。留守番電話にお名前と電話番号のメッセージを入れて下さい。後日事務局よりお電話致します。
⑤同窓会運営の基礎となる年会費の納入に、ご協力をお願いします。

2023年度 決算報告 (2023年4月1日~2024年3月31日)

1 一般会計				(単位:円)
(収入の部)		予算額	決算額	増減
1	2022年度繰越金	2,545,576	2,545,576	0
2	2023年度会費納入金	7,140,000	6,891,000	△249,000
3	財政調整基金より	4,500,000	3,000,000	△1,500,000
4	雑収入(ご寄付、銀行利息等)	14,424	103,910	89,486
合 計		14,200,000	12,540,486	△1,659,514
(支出の部)		予算額	決算額	増減
1	会議費	470,000	401,214	△68,786
2	事業費	9,940,000	7,942,465	△1,997,535
3	事務費	3,380,000	3,101,135	△278,865
4	100周年積立金	400,000	400,000	0
5	予備費	10,000	0	△10,000
合 計		14,200,000	11,844,814	△2,355,186
収入合計 12,540,486円-支出合計 11,844,814円=収支差額 695,672円(次年度繰越)				
2 基金				(単位:円)
		(収入の部)	(支出の部)	
①	財政調整基金			
	2022年度繰越金	618,957		
	在校生納入	2,799,000		
	一般会計へ繰出		3,000,000	
	次年度繰越金		417,957	
合 計		3,417,957	3,417,957	
②	100周年記念事業特別基金			
	2022年度繰越金	600,000		
	2023年度積立金	400,000		
	100周年事業会計へ繰出		1,000,000	
	次年度繰越金		0	
合 計		1,000,000	1,000,000	
3 100周年記念事業ご寄附総額		39,169,493円		
4 監査報告				
2023年度の決算について、会計帳簿および関係書類を監査照合した結果、適正に処理されていることを確認しましたので報告いたします。				
令和6年4月6日				
		監査	竹内 信六 印	
		監査	伊川美智子 印	

2023年度 事業報告 (2023年4月1日~2024年3月31日)

月	日	内 容	月	日	内 容
4	8	第1回本部役員会	10	28	第5回本部役員会
	8	会報第31号第3回編集委員会	11	18-19	自彊セミナー「全統プレテスト」(3年生)
	22	第1回理事会		22~26	100周年記念行事(記念美術展・関西)
	22	会報第31号第4回編集委員会		25	第3回理事会
5	7	100周年記念行事(親善野球試合)	2	17	第6回本部役員会
6	10	会報第31号発行		28~3	100周年記念行事(記念美術展・関東)
	10	第2回本部役員会		29	第76回生同窓会入会式
7	8	2023年度総会(会場:母校探究ルーム)	3	9	第4回理事会
	28	100周年記念行事(記念観望会)		9	会報第32号第1回編集委員会
	29	第3回本部役員会		20	第74回生「二十歳の集い」
8	19	第2回理事会		27	100周年実行委員会(最終回)
9	12	第4回本部役員会		27	100周年記念行事(記念お茶会)
	30	100周年記念行事(記念式典他)		27	会報第32号第2回編集委員会

松本ヤス先生を偲ぶ



佐伯敏裕 (旧職員・高24回)

松本ヤス先生は明高の2回生、24回生の私からすると大先輩にあたるわけですが、それよりも私にとっては書道の師匠、松本良信先生の奥様。そういうこともあって、私は明高在校中からずっとお世話になっていましたので、優に半世紀以上もの間、親のように暖かく厚い心で公私にわたり支えていただきました。

私は大学時代は東京で生活をしておりましたが、春夏冬の休みには早々に帰省しては書道の御指導を仰ぎに頻繁に先生のお宅へお邪魔させていただきました。休みが明けて東京へ戻る前には必ずといってよいほどヤス先生に美味しいものを食べに連れて行っていただき、嬉しかったことは今も忘れることができません。

卒業後、地元の高校に就職してからは週に2回のペースで良信先生の御自宅へ通うことになり、当然のことながらヤス先生にも色々ご面倒をお掛けしました。また私の初任校の明商、次に勤めた明北では、ヤス先生は産休先生のピンチヒッターの英語

の先生として赴任され、偶然にも私と隣り合わせの席になったこともありました。ヤス先生は御自宅にあつては良信先生が書道の大家であられたので、何十人もの門弟のお世話、3人の御子息のお世話、実母大山ラク先生のお世話、それにご趣味の短歌の会、駐日ボリビア領事を介しての日本童謡の翻訳ボランティア等々、家の中でも外でも心を込めて一生懸命に頑張っておられました。日々多忙でありながら、ヤス先生はどんな場面でも生き生きと輝いておられました。

自彊会にあつてもお若い頃から要職に就かれておりましたが、創立80周年のときは会長として立派に堂々とその任を果たされました。その頃、私は80周年記念誌の制作を、とりわけ国語の木下淳一先生に無理を言つて毎晩遅くまで付き合ってもらつていました。それが耳にされていたのかどうか、記念誌の作業がほぼ片付いた頃に2人を連れて明石と三宮の高級店で労つていただいたことも忘れることができません。

派手な表舞台を立派にこなされるだけでなく、家庭にあつてもいい奥様であり、いいお母様でありました。亡くなる一週間前の消印で葉書をいただいていたのですが、「明高100周年も出れそうになく、誠に心のこりです」とありました。100周年の記念誌には玉稿を頂戴し、掲載させていただきます。

ヤス先生から受けたご恩と暖かいお心をいつまでも忘れずにいたいと思つております。

お悔み

井上 省三	尾崎 一	吉多 修	喜多 恒夫	熊谷 建吾	曾根 千賀	中村 大	前田 英	松尾 陽三	藤岡 泰	三谷 力	武川 順	花房 正二	橋本 清	鼻本 教	福田 一	片岡 達	森口 密	谷本 恵	川口 敬	田中 一	田中 法	榎中 雄	石橋 一	柳村 治	中瀬 昇	石橋 泰	佐藤 尚	小松 清	
山田 隆三	細川 隆	荻野 栄次	深野 忠比古	岩本 尚	樽井 幸	土谷 良	西森 宏	羽岡 信	伊藤 宏	湊藤 昭	矢野 茂	浅野 弘	大野 信	小川 英	尾崎 隆	柏木 三	尾崎 隆	大野 信	小川 英	尾崎 隆	大野 信	小川 英	尾崎 隆	大野 信	小川 英	尾崎 隆	大野 信	小川 英	尾崎 隆
上田 猛	浅田 比古	川崎 博	橋本 正	佐藤 賢	杉本 篤	橘井 高	土井 繁	中井 康	永井 千	成井 友	畑井 博	三谷 和	森谷 義	吉岡 芳	森岡 廣	三谷 和	森谷 義	吉岡 芳	森岡 廣	三谷 和	森谷 義	吉岡 芳	森岡 廣	三谷 和	森谷 義	吉岡 芳	森岡 廣	三谷 和	森谷 義
蔭山 天	徳山 唯	戸田 千	中田 宏	中野 正	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定
小田 治章	天田 宏	蔭山 天	徳山 唯	戸田 千	中田 宏	中野 正	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定	藤澤 定

稲竹久田大^{高校6}石松藤浜津田高金立岩有^{高校5}脇米有吉森萩松富堀田長中中堤辻谷高高杉浮伊井村青^{高校4}山
 岡田保畑西山岡本口木中井治花本本^{高校5}山谷吉本原下士畑部谷井本口原原須庭上田木^{高校4}田
 美昌美寿直臣路富早武^{高校5}信道清茂和和末貞久弘和平禎輝光信照丈栄春俊楊康正
 智裕子子生子昭護邦茂修子能子之勇夫宏子樹彦子雄子晋子子己八章雄枝郎男一治作良子明人

茨萩西永長中中玉谷武小川井^{高校8}吉三三松藤福中伊池上岸木青金栗奥岡山榎滝井石池^{高校7}植三菅松東中
 木野村岡尾野野田口田林江上井前浦原原山西藤田原田下木光西野田口本本田山上本宅野谷田村
 美正徹昇好陽幸正光徹博勝善壽良浩雅貞義多克芳正隆充十昭敏明孝芳輝早俊
 智明夫司修充英弘美泰一也計澄信次一生徹子子子子子也子弘智三子子彦子義明治子幸澄苗豊三

松前尾橋中中都木大稲^{高校11}五秋^{高校11}辻三向三西八橘杉後北木萩大大大河^{高校10}中松長藤今須坂小岡石^{高校9}渡柳藤
 崎中崎本西嶋築村西井藏定輪井浦村木田藤野下野野西川合村本尾井井藤手谷崎賀邊生原
 光良道伸璋正靖雅静道稔雅紀邦秀純侑貴力興光博タ育良一栄衛揚淳清節博誠
 司弘子哲頼文彦純彦子雄夫子子幸弘健子司司仁斉子藏正有也子子英恵子国子子二子亮正一忠

萩西伊田関柴岩小馬^{高校14}吉松藤中谷谷久神甲萩今^{高校13}福中中中富多花小黒野福嘉萩井廣遠塩^{高校12}木森森
 原田藤口弥谷本鴨田川尾本波井本岡禮田谷森井安部野谷田田房林住畑本村野上富口岡梨本川
 博孝克辰英協立孝禮裕直正敏邦清勝倫淳充洋利敏勝圭由利雅孝勝健知吉悦拓久満加桂弘
 豪之子己子明子郎次子子彦彰人舜子彦彦英代子雄一明久義佑子雄昭子代彦子平子司子三一

藤中平清粕岩市吉^{高校19}吉福玉尾島佐島大^{高校18}三松早仲中竹国秋菊柏池^{高校17}吉松杉岸井天^{高校16}橋馬^{高校15}吉柳尾鎌
 坂山水谷谷村川岡本木野田藤田熊村本川田西厚森定野木内本本岡本上野田田村川崎苺
 修和美代恒隆万理高哲ふみ正繁妙忠秀三喜雅京昂清麗次道照勝康良敬敏秀美那良隆優清
 三夫渡子治生幸子司夫強子雄良子男治男夫子壺勲司子信夫義利隆郎雄之明俊子雄司子美

川^{高校25}河小^{高校24}松林橋根中大熊加柏^{高校23}山宮丸樽大大井^{高校22}法三中穀耳北金^{高校21}森松松寺田妹児久樞伊^{高校20}安
 井月鷹浦本古村泉原藤木下野上井野谷簡兼輪根内塚村岡本野岡中尾玉礼原藤尾
 淳喜靖厚直秀安和真正久文高善賢隆光俊美純一峰信正博憲泰貞卓敏敏大克
 子代雄子隆行正雄洋子起志人志隆久治啓治克代子博隆子夫博史一幸子実雄孝孝敬清己

小^{高校38}林尾賢^{高校36}正清柏^{高校35}諸土^{高校33}久保^{高校32}森高^{高校31}浜野魚伊^{高校30}和和松駒^{高校28}金^{高校27}岡橋松畑^{高校26}山森向堀橋
 林住見井水木岡井田川木崎口住藤田田尾口田由起子真幸周福惠清輝基和正雅敏
 毅一り子二寛久和子子晃恵一好文一秀樹造章子美生子一史雄子毅代勝江夫

島^{高校58}吉^{高校56}福^{高校54}城^{高校48}杉^{高校47}吉^{高校46}大^{高校45}村^{高校43}西^{高校42}吉^{高校42}竹^{高校39}
 田田島橋戸本田谷本岡田岡本明
 怜智雅雅直朋浩謙弘稔恵子
 奈亮円史代希弘一介樹之

同窓会会員名簿の改訂を7年ぶりに行いました。その関係で例年に比べ多くの方がお亡くなりになつてゐることが判明いたしました。ご連絡を頂きまして誠にありがとうございました。ご連絡を頂きまして誠にありがとうございました。

編集後記

昨年5月の中京大中京高校との「記念野球大会」を皮切りに、9月の記念式典・祝賀会、記念美術展に至る目白押しイベントをレポートする本号。コロナで開催が控えられていた学年同窓会も100周年を機に12学年で開催され、お陰でこれだけのニュースを24ページにまとめるのは大変でした。でも久しぶりの同級生との集い！楽しい雰囲気満ちています。

巻頭にある関係者のメッセージから、明高の「新たなステージへ！」の意気込みが伝わればと願っています。

(卓)